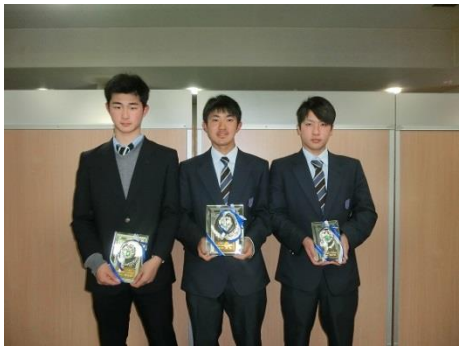
第3回広島県ジュニア育成研修会

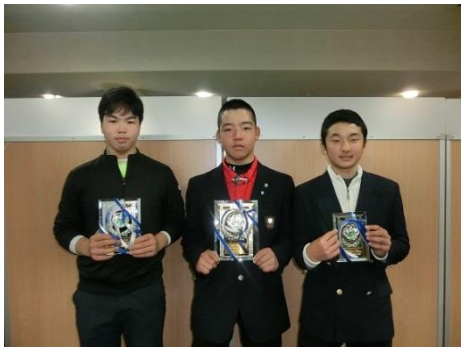
平成28年2月13日(土)
於　呉カントリークラブ
天候　大雨・霧

高校女子の部　左から
藪下真衣、垣　優菜　金岡杏実



高校男子の部　左から
定藤玄輝、金谷拓実　金岡圭吾

中学女子の部　左から
中村佳音、神田ひなた、益田世梨



中学男子の部　左から
大石敦也、唐下明徒、寺西遼馬
（各敬称略）

広島県ジュニア育成研修会を終わって

広島県ゴルフ協会は広島県国体の候補選手の育成と強化を始め、底辺拡大、及びジュニア育成の事業の一環として、「広島県ジュニアゴルフスクール」の開催を始めました。
広島県ゴルフ練習場協会加盟練習場で「第１回広島県ジュニアゴルフ体験スクール」が開催され、上野忠美プロの「子供たちにゴルフ場の素晴らしさを見せてあげたい」との一言からゴルフ場での「体験ラウンド」が始まりました。

開校に伴い、我々広島県プロゴルフ協会は「広島県ジュニアゴルフスクール」の事業内容やコース体験指導に全面的に協力するに至り、体験スクール卒業後、ゴルフは小、中学校でのクラブ活動がなく、高校までの空白期間を埋めるために「体験スクール」に続いて「本スクール」（ステップアップスクール）の必要性を説き、Ａクラス～Ｅクラスまでの５段階のランクを与え、そのランクごとに出場できる模擬競技として、「合同練習会」、「記録会」、「競技会」等を提案し、この模擬競技の実施を通してエチケット・マナー、ルール、及び技術を段階的に指導し、向上心や自我意識の芽生え、継続意欲などの情操教育をも促し、体験スクールから競技会までの一貫したカリキュラムを導入しました。

同時に「乗用カートを導入」し、また、ゴルフ場のスタート終了後の時間を「ジュニアたちに開放して頂く」、模擬競技においては、「保護者の立ち入り範囲を拡大」し、「ボランティアの協力」などに携わって頂くなど、ゴルフを始める年齢をぐっと下げ、年少からの子供たちでもゴルフが出来る環境作りを各方面の方々と一緒に実現させました。

このシステムは大成功であり、昨年最年少記録で日本アマを制した金谷拓実選手、現ナショナルチームの小西健太選手、石徳俊樹選手、元ナショナルチームの長谷川祥平選手、村山駿選手、田辺ひかり選手などの多くのトップジュニアを輩出して来ました。同時に平本　穏プロ、森川将樹プロ、松本哲也プロ、廣瀬加奈プロも誕生し、若手プロがこれらの模擬競技を手伝ううちに郷土愛から生まれて来た感謝と応援の気持ちとして、「トップクラスや次にそこを目指すジュニア達のステップアップを図ってあげたい」との申し出があり、企画されたのが、「広島県ジュニア育成研修会」であります。

今回は大雨と霧の中、開催されましたが、プロの大会でしたら中止となっていただろうという悪条件の中、ジュニアたちにこのような大雨の中を敢えて体験させ勉強させる目的でプレーを続行させました。

当日はジュニア全体のレベルアップを図る研修会であり、このような悪条件でなければ生じないルール、マナー、技術面を指導し、また、雨の日の対策として、クラブのセッティング変更、雨具の準備、手袋の予備、タオルの用意、前もってビニール袋を準備し入れておくなどの「事前の準備と心構え」の大切さなどについてもアドバイスを受け真剣に耳を傾けていました。

ゴルフは自然の状況下の中、４日間開催されます。その中の代表的な大会が「全英オープン」で４日間の中に四季があります。初日は半袖でプレーしていたかと思うと、次の日はウィンドブレーカーを着てプレーをしています。また晴れていたのにと思うとあっという間に大雨の中でプレーをしなければなりません。今、自分に何ができるか。そのための備えと準備、対処、経験から生まれる決断。どんな些細なことでもおろそかにしない勝負の世界に生きるプロとの違い、またトップ選手との差が、１打に繋がることを学んで頂きたいところでありました。

広島県プロゴルフ協会会長
田中光治氏の言葉

当初、「ジュニアスクール」協力のお話を頂いた時には、高ゴ連に加入しているジュニアも少なく、団体戦（４名中３名の合計スコア）に出場出来る高校は２校しかないと先生方も大変嘆き、心配されておられました。

それから、「広島県ゴルフ協会」とその傘下にある３団体（ゴルフクラブ連盟支配人会、練習場協会、高ゴ連）と本会が協力し、他県にはない素晴らしい組織を作り上げることが出来ました。当時からの目標である底辺拡大を成し遂げつつ、子供たちの早い段階からのジュニア育成をも実現させ、多くの名選手誕生に繋がる手助けが出来たと思っております。これからも県内各団体がさらなる協力と尽力を以って、国体の「常勝・広島」と１位は広島と呼ばれるように貢献できればと考えております。

その中の一つとして、広島県下のトップクラスのジュニアとプロが一緒にラウンドする同研修会は、私が長年想ってきた事で、今回で３回目迎えることとなり、大変嬉しく思っています。

ジュニア達には、夢や志を高く持って、国体を足掛かりに４年後の東京オッリンピック出場も含め、世界で戦える選手に育って欲しいと思っています。

今回は大雨の中、勉強させる目的で断固強い意志を以ってプレーを続行させました。

ジュニアたちも大変だったと思いますが、一緒にラウンドしてくれました２０名のプロ達にすまなかったという気持ちとありがとうという気持ちで一杯です。

今回の研修会が「世界で羽ばたいてくれる」ことの経験の一つとなって頂けたら幸いです。